

## 「長浜小学校の宣教師上陸記念碑の調べ学習の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立長浜小学校

### 2 学年・人数

5・6年生（計13人）

### 3 日時・場所

#### （1）学習会等の日時・場所

令和元年7月～11月

令和元年11月2日（土）海星中学校文化祭

#### （2）発表の日時・場所

11月以降パネル展示 各小中学校

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### （1）名称・時代

宣教師上陸祈念碑（せんきょうしじょうりくきねんひ）：昭和

#### （2）特徴

1602年7月、薩摩藩の招きによって、マニラから4人の神父と1人の修道士が長浜に上陸した。その後、しばらく布教活動をしていたが、1609年に藩主の発令した追放令により島を離れたといわれている。

それから約380年を経た今日でも甕島の人たち心に残された隣人愛の教えは静かなる信仰として生きている。宣教師上陸記念碑は、当時キリスト教の布教活動に尽力した宣教師たちの功績を讃える目的で、長浜港近くの緑地公園内に建立された。

### 5 保存会や地域との連携の具体

1979年に、長浜区、地域の建設会社、有志の方々の協力もと、獣医師の吉原氏によって建立され、以後、地域民によって大切に保存されている。

記念碑に関して、学校との連携、児童との交流等も行われていない。

### 6 活用の取組の工夫した点

海星中校区小中一貫教育の中期交流学习（ふるさとコミュニケーション科）の歴史をテーマとした調べ学習の際に、児童生徒が調査の対象として宣教師上陸記念碑を取り上げるようにした。記念碑の由来等について調べる中で、郷土の歴史を深く追究することができた。

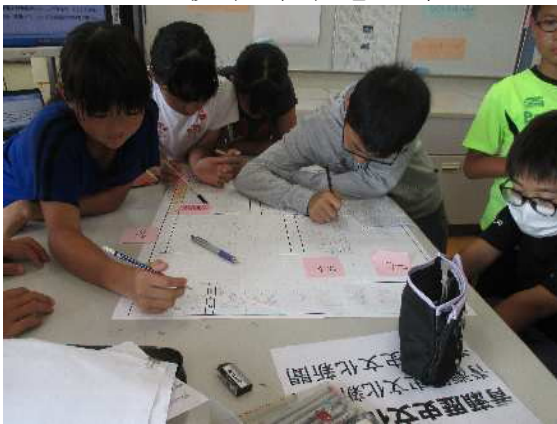
## 7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



宣教師上陸記念の碑



「ふるコミ」調べ学習の様子



「ふるコミ」新聞作りの様子



文化祭での発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 身近な所にも歴史的に重要な場所があることを知りました。もっといろいろなことを知りたいです。
- ・ キリスト教を伝えるために遠くからやってくるのはたいへんだっただろうなあと思いました。その苦勞をねぎらうための大切な記念碑だと分かりました。

### 【教職員】

- ・ 身近な郷土の歴史について理解することはとても大切だと思います。郷土に対する誇りや愛情が、一層増すのではないのでしょうか。
- ・ 公園内にひっそりと佇む記念碑ですが、それについて調べてみると、その存在感が大きくなったような気がします。子供たちには、普段何気なく見過ごすものでも、意識して見ると、そのよさや大切さが理解できることを実感してほしいです。
- ・ 初めてその史跡の存在を知りました。地域の伝統や歴史を学習することができてとても勉強になりました。